

2018年度 第1回市民公開講座を開催しました

2018年6月4日開催

「もしかしてリウマチ？」



リウマチ科部長
医師 緋田 めぐみ

リウマチと聞いてよくイメージされるのは、朝のこわばり、関節の痛み、関節の変形の3点です。これらの症状は変形性関節症などの疾患でもみられることから、レントゲンや採血等の検査により診断します。

かつてリウマチは平均寿命が10年は短くなる

病気といわれていましたが、治療薬の進歩がリウマチ治療の目標をドラスティックに変えました。痛みを取り除く治療から普通の人と同じ生活・寿命を目指す治療へと変わったのです。

リウマチは、骨関節を破壊する病気で、発症後2年間の進行が最も速いため、早期診断・早期治療が大切です。数日以上関節が腫れた状態が続いた時や、複数の関節が一度に腫れた時には、まずはお近くの整形外科の受診をお勧めします。リウマチの専門的な検査や治療が必要と判断された場合や、ご心配が続く場合は、町田市民病院を含めたリウマチ専門医のいる病院に紹介してもらいましょう。「もしかしてリウマチ？」と思ったら、まずは早期受診が大切です。

2018年度 第2回市民公開講座

夏休み子ども病院見学会を開催しました

8月4日(日)、町田市在住の小学校4～6年生を対象に、市民病院の各部門の仕事体験や施設見学を行う「夏休み子ども病院見学会」を開催しました。

参加したお子さんからは、「院長先生に初めて会えて嬉しかった。」「これまで以上に医療に興味を持つことができた。」「手術体験が楽しかった。」「心臓マッサージは少し疲れたけど、人が倒れていた時に助ける方法が分かってよかった。」「将来は放射線技師になりたい。」「将来の夢が看護師だったけど、その思いが強くなった。」「いつかここで働きたい。」などの声をいただきました。

〈各部門での見学・体験内容〉

- 手術室：鶏肉を使っでの電気メス体験や内視鏡でのピースつかみ競争など
- 看護部：ビデオ教材とAED（自動体外式除細動器）を用いた心肺蘇生学習
- 放射線科：MRIやCTなど画像診断装置の操作体験
- 薬剤科：薬に見立てたお菓子の調剤体験
- 栄養科：手作りお菓子の試食とクイズ



手術室



放射線科



薬剤科